

# ボクシング検定 練習問題と解答&解説

## 【2級目安編】

※この問題は、過去実施した企画において使用したものとなります。問題内容、正解に関しては当時の記録・事実となっている場合があります、現在の記録・事実とは異なることがありますので予めご了承ください。

※掲載問題の無断転載・複製を一切禁じます。

### -練習問題-

#### ◆問01◆

ラウンドの終了が間近に迫ったときに鳴らされる拍子木。通常はラウンド終了の何秒前に鳴らされる？

- ① 5秒前
- ② 10秒前
- ③ 20秒前
- ④ 30秒前

#### ◆問02◆

通常、バンタム級の世界戦で使用されるグローブは●オンス？

- ① 6オンス
- ② 8オンス
- ③ 10オンス
- ④ 12オンス

#### ◆問03◆

試合のときにボクサーが拳に巻く白い布（包帯）を何という？

- ① バンテージ
- ② サポーター
- ③ ファイティング・テープ
- ④ ホワイト・テープ

◆問 04◆

現在の世界戦は 12 ラウンド制だが、それ以前は●ラウンド制？

- ① 8 ラウンド制
- ② 10 ラウンド制
- ③ 13 ラウンド制
- ④ 15 ラウンド制

◆問 05◆

ボクサーはノックダウンを喫した場合はカウント 10 以内に立ち上がって戦闘態勢をとる必要があるが、では有効打によってリング外に転落した場合、自力で●秒以内にリングに戻らないと KO 負けになる

- ① 10 秒以内
- ② 15 秒以内
- ③ 20 秒以内
- ④ 30 秒以内

◆問 06◆

ミドル級の体重リミットは●ポンド（約●キロ）

- ① 147 ポンド（約 66.6 キロ）
- ② 154 ポンド（約 69.8 キロ）
- ③ 160 ポンド（約 72.5 キロ）
- ④ 168 ポンド（約 76.5 キロ）

◆問 07◆

反則行為「ラビット・パンチ」とは、相手のどこを叩くこと？

- ① 後頭部
- ② 尻
- ③ 股間
- ④ 頭頂部

◆問 08◆

13 年 4 月、村田諒太（現三迫）のプロテストのスパarringの相手を務めたのは誰？

- ① 淵上誠（八王子中屋）
- ② 佐々木左之介（ワタナベ）
- ③ 湯場忠志（都城レオ）
- ④ 柴田明雄（ワタナベ）

◆問 09◆

主要4団体のうち、設立順に早い方から3番目の団体は？

- ①WBO
- ②IBF
- ③WBA
- ④WBC

◆問 10◆

現在、WBA本部が置かれている国は？

- ①ベネズエラ
- ②コロンビア
- ③ドミニカ共和国
- ④パナマ

◆問 11◆

オスカー・デラ・ホーヤが現役時代に興したプロモーション会社の名前は？

- ①オスカー・プロダクションズ
- ②オスカー・ボクシング・プロモーションズ
- ③ゴールド・オリンピック・プロモーションズ
- ④ゴールデンボーイ・プロモーションズ

◆問 12◆

内山高志（ワタナベ）とも戦ったことのあるWBA暫定世界スーパー・フェザー級王者、ブライアン・バスケスの出身国は？

- ①メキシコ
- ②ニカラグア
- ③コスタリカ
- ④エルサルバドル

◆問 13◆

ボブ・アラム・プロモーターの長年のライバルで、マイク・タイソン（米）やフリオ・セサル・チャベス（メキシコ）らの試合を数多くプロモートした大物興行主は？

- ①ダン・ドウバ・プロモーター
- ②フェルナンド・ベルトラン・プロモーター
- ③ルー・ディベラ・プロモーター
- ④ドン・キング・プロモーター

◆問 14◆

ギジェルモ・リゴンドー、ユリオルキス・ガンボア、リチャード・アブリルらの出身国は？

- ①トリニダードトバゴ
- ②ガイアナ
- ③プエルトリコ
- ④キューバ

◆問 15◆

ロバート・ステイーグリッツ（露／独）対アルツール・アブラハム（アルメニア／独） —  
—ふたりが3度にわたって争った世界王座はどの階級？

- ①スーパー・ウェルター級
- ②ミドル級
- ③スーパー・ミドル級
- ④ライト・ヘビー級

◆問 16◆

日本のジム所属の男子世界チャンピオンで、世界王座の最多防衛「13」の記録保持者とい  
えば具志堅用高だが、では2番目の10度防衛を果たしたのは？

- ①長谷川穂積
- ②新井田豊
- ③徳山昌守
- ④ユーリ・アルバチャコフ

◆問 17◆

5階級制覇チャンピオン、ノニト・ドネア（フィリピン／アメリカ）のニックネームは？

- ①フィリピンの戦闘者
- ②フィリピンの閃光
- ③フィリピンの激闘王
- ④フィリピンの破壊者

◆問 18◆

元世界 4 階級制覇王者ファン・マヌエル・マルケス（メキシコ）の弟で、バンタム級とスーパー・バンタム級を制覇した元世界王者は？

- ①ラウル・マルケス
- ②ラファエル・マルケス
- ③ジョニー・マルケス
- ④エンリケ・マルケス

◆問 19◆

マニー・パッキャオ（フィリピン）のトレーナーとしても知られ、13 年にニューヨークの国際ボクシング殿堂入りを果たした指導者は？

- ①フレディ・ローチ・トレーナー
- ②バージル・ハンター・トレーナー
- ③ロベルト・ガルシア・トレーナー
- ④ロニー・シールズ・トレーナー

◆問 20◆

メキシコ人としてただひとり世界 5 階級制覇を成し遂げているのは誰？

- ①フリオ・セサル・チャベス
- ②エリック・モラレス
- ③ファン・マヌエル・マルケス
- ④ホルヘ・アルセ

◆問 21◆

「S. O. G」というニックネームの現役世界チャンピオンは？

- ①アンドレ・ウォード（アメリカ）
- ②ジェシー・バルガス（アメリカ）
- ③カルロス・モリナ（メキシコ／アメリカ）
- ④スチュワート・ホール（イギリス）

◆問 22◆

では「GGG」（トリプル・ジー）といたら誰？

- ①ジョニー・ゴンサレス（メキシコ）
- ②カルロス・クアドラス（メキシコ）
- ③ガニガン・ロベス（メキシコ）
- ④ゲンナディ・ゴロフキン（カザフスタン／ドイツ）

◆問 23◆

主要4団体で史上初めて5階級制覇を成し遂げたのは誰？

- ①オスカー・デラ・ホーヤ（アメリカ）
- ②トーマス・ハーンズ（アメリカ）
- ③シュガー・レイ・レナード（アメリカ）
- ④マニー・パッキャオ（フィリピン）

◆問 24◆

激闘型ファイターとして知られたアルツロ・ガッティ（カナダ／米）と3度対戦したライバルといえば？

- ①ミッキー・ベイ（アメリカ）
- ②ミッキー・ウオード（アメリカ）
- ③アンドレ・ウオード（アメリカ）
- ④ジェシー・ジェームス・レイハ（アメリカ）

◆問 25◆

ライト・ヘビー級の3階級下のクラスは？

- ①ヘビー級
- ②スーパー・ミドル級
- ③ミドル級
- ④スーパー・ウェルター級

◆問 26◆

日本ボクシングコミッション管理下において、「C級ライセンス」といったら何回戦の試合まで可能？

- ①4回戦
- ②6回戦
- ③8回戦
- ④10回戦

◆問 27◆

かつて日本では「ジュニア・フェザー級」と呼ばれていた階級の現在の呼称は？

- ①スーパー・フライ級
- ②スーパー・バンタム級
- ③スーパー・フェザー級
- ④スーパー・ライト級

◆問 28◆

I B Fルールでは試合当日にも計量が義務化されているが、前日の計量から増量が許されるのは何ポンド（何キロ）まで？

- ① 5ポンド（約 2.26 キロ）以内
- ② 8ポンド（約 3.62 キロ）以内
- ③ 10ポンド（約 4.53 キロ）以内
- ④ 12ポンド（約 5.43 キロ）以内

◆問 29◆

135ポンド（約 61.2 キロ）が体重上限の階級は？

- ① フライ級
- ② バンタム級
- ③ フェザー級
- ④ ライト級

◆問 30◆

日本ボクシングコミッション管理下において、プロボクサーの年齢下限は 17 歳以上だが、原則として定められている年齢上限は？

- ① 30 歳以下
- ② 35 歳以下
- ③ 36 歳以下
- ④ 37 歳以下

◆問 31◆

日本で行われた世界戦で初めて計量に失格したのは誰？

- ① フレディ・ノーウッド（アメリカ）
- ② チャチャイ・チオノイ（タイ）
- ③ ロレンソ・パーラ（ベネズエラ）
- ④ ノエル・アランプレット（ベネズエラ）

◆問 32◆

日本で最初に行われた世界戦は 1952 年 5 月 19 日のダド・マリノ（アメリカ）対白井義男。では、日本で 2 番目に行われた世界戦で白井と拳を交えたのは誰？

- ①ダド・マリノ（アメリカ）
- ②タニー・カンポ（フィリピン）
- ③テリー・アレン（イギリス）
- ④パスカル・ペレス（アルゼンチン）

◆問 33◆

高山勝成、河野公平、田口良一、井上尚弥—サウスポーは何人？

- ① 0 人
- ② 1 人
- ③ 2 人
- ④ 3 人

◆問 34◆

日本王座の連続防衛記録保持者は？

- ①リック吉村
- ②上山仁
- ③木村登勇
- ④天竜数典

◆問 35◆

日本で最初のサウスポーの世界チャンピオンは誰？

- ①具志堅用高
- ②小熊正二（大熊正二）
- ③小林光二
- ④海老原博幸

◆問 36◆

プロ 8 戦目で世界王座を獲得した日本人選手は辰吉丈一郎と、もうひとり？

- ①井上尚弥（大橋）
- ②井岡弘樹（グリーンツダ）
- ③井岡一翔（井岡）
- ④名城信男（六島）



◆問 37◆

日本人として初めて海外で世界タイトル奪取を成し遂げたのは西城正三。では2人目は？

- ①柴田国明
- ②平仲信明
- ③上原康恒
- ④三原正

◆問 38◆

ファン・グスマン対具志堅用高、イラリオ・サパタ対穂積秀一の試合が行われたのは何県？

- ①山梨県
- ②静岡県
- ③沖縄県
- ④埼玉県

◆問 39◆

最初に親子で世界チャンピオンになったのは？

- ①チャベス父子（メキシコ）
- ②エスパダス父子（メキシコ）
- ③アリ父娘（アメリカ）
- ④スピックス父子（アメリカ）

◆問 40◆

12年ロンドン五輪のスーパー・ヘビー級金メダリストは誰？

- ①アンソニー・ジョシュア（イギリス）
- ②オードリー・ハリソン（イギリス）
- ③アンソニー・オゴゴ（イギリス）
- ④ルーク・キャンベル（イギリス）

◆問 41◆

現在、IBFの本部があるのは？

- ①パナマ
- ②ベネズエラ
- ③プエルトリコ
- ④アメリカ

◆問 42◆

日本で初めて行われた世界ヘビー級タイトルマッチは？

- ①ジョージ・フォアマン対ジョー・キング・ローマン
- ②モハメド・アリ対マック・フォスター
- ③マイク・タイソン対トニー・タップス
- ④マイク・タイソン対ジェームス・ダグラス

◆問 43◆

アメリカのカリフォルニア州カーソンの「スタブハブ・センター」。ドネア対西岡が行われたころの名称は？

- ①ホームデポ・センター
- ②ザ・フォーラム
- ③ステーブルズ・センター
- ④クラブ・ノキア

◆問 44◆

93年11月6日、アメリカのラスベガスで行われたリディック・ボウ対イベンダー・ホリフィールドⅡの7回に起こったハプニングとは？

- ①リング中央に穴が開いた
- ②ボウの母親がリングに乱入した
- ③突然の大雨で試合が中断した
- ④パラグライダーが落下した

◆問 45◆

次の4人のうち、世界王座の防衛記録が20に満たないのは誰？

- ①ダリウス・ミハエルゾウスキー（ポーランド）
- ②ジョー・カルザゲ（イギリス）
- ③スフェン・オットケ（ドイツ）
- ④クリス・ジョン（インドネシア）

◆問 46◆

「鈴木有二」が本名の元世界王者は誰？

- ①レパード玉熊
- ②ガッツ石松
- ③ファイティング原田
- ④ロイヤル小林

◆問 47◆

「ロープ際の魔術師」と称されたメキシコの人気ボクサーは？

- ①ルーベン・オリバレス
- ②リカルド・ロペス
- ③サルバドール・サンチェス
- ④ジョー・メデル

◆問 48◆

70年代から80年代にかけて史上初の5階級制覇を成し遂げた「ヒットマン」といえば誰？

- ①オスカー・デラ・ホーヤ（アメリカ）
- ②シュガー・レイ・レナード（アメリカ）
- ③トーマス・ハーンズ（アメリカ）
- ④マービン・ハグラール（アメリカ）

◆問 49◆

セルゲイ・コバレフ（ロシア／アメリカ）のニックネームは？

- ①マラビジャ（驚異の男）
- ②パンテリータ（豹）
- ③クラッシャー（破壊者）
- ④ハンター（獵人）

◆問 50◆

「アックスマン（斧を振る男、木こり）」のニックネームで知られる前WBA世界フェザー級スーパー王者は？

- ①ダニー・ガルシア（アメリカ）
- ②ニコラス・ウォータース（ジャマイカ）
- ③ショーン・ポーター（アメリカ）
- ④ロバート・ゲレロ（アメリカ）

◆問 51◆

14年12月30日、井上尚弥（大橋）に敗れるまでWBO世界スーパー・フライ級王座を11度防衛していたアルゼンチンのサウスポーは誰？

- ①オマール・ナルバエス
- ②ネストール・ナルバエス
- ③ファン・カルロス・レベコ
- ④ルーカス・マティセ

◆問 52◆

マニー・パッキャオ（フィリピン）には勝ったことがあるが、フロイド・メイウエザー（アメリカ）とティモシー・ブラッドリー（アメリカ）には敗れている選手は誰？

- ① エリック・モラレス
- ② シェーン・モズリー
- ③ ファン・マヌエル・マルケス
- ④ マルコス・マイダナ

◆問 53◆

ギジェルモ・リゴンドー、エリスランディ・ララ、アドニス・スティーブンソン、ケル・ブルック——サウスポーは何人？

- ① 1人
- ② 2人
- ③ 3人
- ④ 4人

◆問 54◆

プエルトリコで唯一の世界4階級制覇チャンピオンは誰？

- ① ウィルフред・ゴメス
- ② ウィルフред・バスケス
- ③ フェリックス・トリニダード
- ④ ミゲール・コット

◆問 55◆

エリスランディ・ララ、リチャード・アブ ril、ユリオルキス・ガンボア、ギジェルモ・リゴンドーの出身国は？

- ① ジャマイカ
- ② キューバ
- ③ バハマ
- ④ ベネズエラ

◆問 56◆

今年3月、アムナット・ルエンロエン（タイ）の持つIBF世界フライ級王座に挑んで判定負けを喫したゾウ・シミン（鄒市明）。アマチュア時代にオリンピックで獲得したメダルの数は？

- ① 1個
- ② 2個
- ③ 3個
- ④ 4個

◆問 57◆

現在、ルーマニア出身のルシアン・ビュテ、ハイチ出身のジャン・パスカル、ロシア出身のアルツール・ベテルビエフらが主戦場になっているのは、どの国？

- ① アメリカ
- ② ドイツ
- ③ カナダ
- ④ イギリス

-解答&解説-

◆問 01◆

A②10秒前：レフェリーと選手にラウンド終了が近いことを知らせるために採用された。以前、ニューヨークではラウンド終了5秒前に拍子木が鳴らされていたが、現在は他の地域と同様に10秒前になった。

◆問 02◆

A②8オンス：現行のルールではミニマム級からスーパー・ライト級までが8オンス（約227グラム）、ウェルター級以上は10オンス（約284グラム）のグローブを使用することになっている。

◆問 03◆

A①バンテージ：JBCのルールでは、「バンテージは幅2インチ（約5.1センチ）、長さ10ヤード（約9.14メートル）を超えてはならない」と定められている。

◆問 04◆

A④15ラウンド制：80年代前半、選手の事故防止、健康管理を目指してWBCが採用。時的なズレはあったが、これに他団体も続いた。

◆問 05◆

A③20 秒以内：現行の4本ロープになってからは試合中に選手がリング外に転落するのは極めてレアケースといえるが、ルール上は20秒以内に戻らなくてはならない。

◆問 06◆

A③160ポンド（約72.5キロ）：147ポンドはウェルター級、154ポンドはスーパー・ウェルター級、168ポンドはスーパー・ミドル級のリミット。

◆問 07◆

A①後頭部：ウサギの急所が後頭部であることから名づけられたといわれている。

◆問 08◆

A②佐々木左之介（ワタナベ）：佐々木は12年10月に日本ミドル級王座を獲得したが、13年2月に陥落。その2ヵ月後、村田の公開プロテスト・スパーリングの相手を3ラウンド務めた。

◆問 09◆

A②IBF：最も早い統括団体はNBAを前身とするWBAで、1923年に設立。次いでWBCが1963年、IBFが1983年、WBOが1988年と続く。

◆問 10◆

A④パナマ：数年前まではベネズエラに本部が置かれていた。

◆問 11◆

A④ゴールデンボーイ・プロモーションズ（GBP）：現役時代の2000年代初頭に設立し、自分の試合をセルフ・プロモートしたこともある。現在は数多くのトップ選手を擁し、トップランク社とともに世界のボクシング界をリードしている。

◆問 12◆

A③コスタリカ：ニカラグアはアレクシス・アルゲリョやローマン・ゴンサレスらを輩出。パナマはロベルト・デュランやエウセビオ・ペドロサといった名王者を輩出したが、両国に挟まれたコスタリカは11年11月にバスケスがWBA暫定世界スーパー・フェザー級王座を獲得するまで世界王者はいなかった。

◆問 13◆

A④ドン・キング・プロモーター（アメリカ）：故ドウバ・プロモーター（アメリカ）は「メイン・イベント社」、ベルトラン・プロモーター（メキシコ）は「サンフェル・プロモーションズ」、ディベラ・プロモーターは「ディベラ・エンタテインメント」のボス。

◆問 14◆

A④キューバ：1959年のキューバ革命以後、社会主義国家のキューバは原則としてプロ活動を認めていない。そのためトップ選手たちは亡命というかたちでメキシコやアメリカ、ドイツなどに渡ってプロ活動を開始するケースが目立つ。

◆問 15◆

A③スーパー・ミドル級：両者は12年8月に初対戦し、アブラハムが12回判定勝ちで王座を獲得。13年3月の再戦はスティーグリッツが4回TKO勝ちで王座を奪回。そして14年3月の第3戦は再びアブラハムが判定勝ちを収めている。

◆問 16◆

A①長谷川穂積（千里馬神戸⇒真正）：新井田は7度、徳山は8度、ユーリは9度の防衛を記録。

◆問 17◆

A②フィリピンの閃光：「フィリピーノ・フラッシュ」というニックネームは十代のときにアニメのキャラクターから拝借したという。

◆問 18◆

A②ラファエル・マルケス（メキシコ）：ちなみに兄弟で複数階級制覇を成し遂げたのは、このマルケス兄弟と亀田兄弟（興毅と大毅）がいる。

◆問 19◆

A①フレディ・ローチ・トレーナー（アメリカ）：ハンター・トレーナーはアンドレ・ウォード（アメリカ）やアミール・カーン（イギリス）を指導。ガルシア・トレーナーは弟のミゲール・ガルシア（アメリカ）やノニト・ドネア（フィリピン／アメリカ）を指導。シールズ・トレーナーはマイク・タイソン（アメリカ）やギジェルモ・リゴンドー（キューバ／アメリカ）らの指導者として知られる。

◆問 20◆

A④ホルヘ・アルセ：チャベスは3階級制覇、モラレスとマルケスは4階級制覇。現役のマルケスは5階級制覇に意欲をみせている。

◆問 21◆

A①アンドレ・ウォード（アメリカ）：S. O. Gは「SON OF GOD」（神の子）の略。

◆問 22◆

A④ゲンナディ・ゴロフキン（カザフスタン／ドイツ）：「GGG」には複数の説がある。ひとつはフルネームのゲンナディ・ゲンナビッチ・ゴロフキンを略したというもの。もうひとつは「グレート」のG、さらに「ゴッド」のGというもの。

◆問 23◆

A②トーマス・ハーンズ（アメリカ）：ハーンズは1988年11月4日にWBOのスーパー・ミドル級王座を獲得して5階級制覇を達成。その3日後、レナードがドニー・ラロン（カナダ）との試合で一気にWBCのスーパー・ミドル級王座とライト・ヘビー級の2冠を獲得、史上2人目の5階級制覇者となった。デラ・ホーヤとパッキャオは2000年代に達成。

◆問 24◆

A②ミッキー・ウォード（アメリカ）：両者は02年5月、11月、03年6月の3度対戦し、いずれも命を削るような激闘だったが、ガッティが2勝1敗と勝ち越した。

◆問 25◆

A④スーパー・ウェルター級：ライト・ヘビー級のすぐ下のクラスはスーパー・ミドル級で、その下がミドル級、さらにその下がスーパー・ウェルター級。

◆問 26◆

A①4回戦：ちなみに「B級ライセンス」は6回戦まで、「A級ライセンス」は8回戦以上が可能と規定されている。

◆問 27◆

A②スーパー・バンタム級：「ジュニア」の呼称は現在もIBFとWBOで使用されているが、日本では90年代後半から「スーパー」の呼称をつかうようになった。ちなみにジュニアの場合は次にくる階級のひとつ下のクラスを意味し、スーパーの場合は次にくる階級のひとつ上のクラスを意味する。つまり「ジュニア・フェザー級」は「スーパー・バンタム級」と同じ階級のこと。



◆問 28◆

A③10 ポンド以内：クラスに関係なくリバウドの許容範囲は一律 10 ポンド以内とされる。10 年 9 月、I B F 世界フェザー級王者だったオルランド・サリド（メキシコ）は当日計量で 10 ポンド以上の増量があったため、試合を前に王座を剥奪された。

◆問 29◆

A④ライト級：ちなみにフライ級は 112 ポンド（約 50.8 キロ）以下、バンタム級は 118 ポンド（約 53.5 キロ）以下、フェザー級は 126 ポンド（約 57.1 キロ）以下と定められている。

◆問 30◆

A③36 歳以下：原則として 37 歳の誕生日前日までは試合出場が可能とされる。37 歳は含まれないため「36 歳以下」と規定されている。ただし、37 歳の誕生日を迎えた時点で世界 15 位以内にランクされている場合など例外もある。

◆問 31◆

A②チャチャイ・チオノイ：チャチャイは 74 年 10 月 18 日、花形進との防衛戦を前に体重オーバーで失格。試合でも 6 回 KO 負けを喫した。ノーウッドは松本好二との防衛戦を前に体重オーバー（98 年 9 月）、パーラは坂田健史戦（07 年 3 月）の際に体重オーバー、アランブレットはジョマ・ガンボア戦（2000 年 8 月）を前に体重オーバーの失態を犯した。

◆問 32◆

A①マリノ：白井は半年後の初防衛戦でマリノとの再戦に臨み 15 回判定勝ちを収めた。カンポは 2 度目の防衛戦の相手、アレンは 3 度目の防衛戦の相手、ペレスは 5 度目の防衛戦の相手。

◆問 33◆

A①0 人：瞬間的な左構えになるときを除き、基本的に 4 人とも右構え。

◆問 34◆

A①リック吉村：リック吉村は 95 年から 99 年にかけて日本ライト級王座を連続 22 度防衛。上山はスーパー・ウェルター級王座を 20 度防衛、木村は日本スーパー・ライト級王座を 13 度防衛、天竜は日本ライト・フライ級王座を 16 度防衛した。

◆問 35◆

A④海老原博幸：海老原は 1963 年に世界フライ級王座を獲得。具志堅は 76 年にライト・フライ級（ジュニア・フライ級）で戴冠。小熊（大熊）は 74 年、小林は 84 年にそれぞれフライ級で世界王座を獲得した。

◆問 36◆

A④名城信男：名城は 06 年 7 月、マーティン・カスティージョ（メキシコ）に 10 回 TKO 勝ちを収め、辰吉と並ぶプロ 8 戦目で WBA 世界スーパー・フライ級王座を獲得。井上は 6 戦目、井岡弘樹は 9 戦目、井岡一翔は 7 戦目で世界王座を獲得した。

◆問 37◆

A①柴田国明：柴田は 70 年 12 月、メキシコのティファナで WBC 世界フェザー級王者ビセンテ・サルディバル（メキシコ）に 12 回終了 TKO 勝ち（当時の世界戦は 15 回戦制）。68 年 9 月にアメリカのロサンゼルスで WBA 世界フェザー級王座を獲得した西城に続いて日本人ふたりめの海外での世界王座奪取を成し遂げた。上原は 80 年 8 月、アメリカのデトロイトで、また三原は 81 年 11 月、アメリカのニューヨーク州ロチェスターで世界王座を獲得。平仲は 92 年 4 月、メキシコで世界王座を獲得した。

◆問 38◆

A①山梨県：グスマン対具志堅の WBA 世界ライト・フライ級（当時の呼称はジュニア・フライ級）タイトルマッチは 76 年 10 月、山梨県甲府市の山梨学院大学体育館で行われ、具志堅が 7 回 KO 勝ち。サパタ対穂積の WBA 世界フライ級タイトルマッチは 86 年 4 月、山梨県の韮崎市体育館で行われ、サパタが 15 回判定勝ちを収めた。

◆問 39◆

A②エスパダス父子：これまで親子で世界王者になった例は 6 組ある。エスパダスは父親が 76 年に WBA 世界フライ級王座を獲得し、息子のエスパダス・ジュニアは 2000 年に WBC 世界フェザー級王座を獲得。このあとスピックス父子、バスケス父子、アリ父娘、チャベス父子、そしてユーバンク父子と親子世界王者は 6 例が記録されている。

◆問 40◆

A①アンソニー・ジョシュア：ハリソンは 2000 年シドニー五輪スーパー・ヘビー級金メダリスト。オゴゴは 12 年ロンドン五輪ミドル級銅メダリスト。キャンベルは 12 年ロンドン五輪バンタム級金メダリスト。

◆問 41◆

A④アメリカ：I B F本部はニュージャージー州スプリングフィールドにある。W B Aはパナマ、W B Cはメキシコ、W B Oはプエルトリコに本部を構える。

◆問 42◆

A①フォアマン対ローマン：フォアマン対ローマンは73年9月1日、日本武道館で行われ、フォアマンが1回KO勝ちで初防衛を果たした。アリ対フォスターは72年4月に日本武道館で行われたが、世界戦ではなかった。タイソン対タップスは88年3月、タイソン対ダグラスは90年2月にいずれも東京ドームで行われた。

◆問 43◆

A①ホームデポ・センター：13年6月から現在の名称「スタブハブ・センター」に変更された。

◆問 44◆

A④パラグライダーが落下：ボウ対ホリフィールドのW B A & I B F世界ヘビー級タイトルマッチは93年11月6日、ラスベガスのシーザース・パレス・ホテルの特設リングで行われた。ほぼ互角で迎えた7回途中、ジェームス・ミラーという男が操縦するパラグライダーがロープに激突。試合は1時間近く中断後に続行され、ホリフィールドが小差の判定勝ちで王座奪回を果たした。

◆問 45◆

A④クリス・ジョン（インドネシア）

主要4団体の世界王座を20回以上防衛したチャンピオンは、ジョー・ルイス（アメリカ＝25回）、ダリウス・ミハエルゾウスキー（ポーランド＝23回）、リカルド・ロペス（メキシコ＝22回）。ジョー・カルザゲ（イギリス＝21回）、スフェン・オットケ（ドイツ＝21回）、バーナード・ホプキンス（アメリカ＝20回）の6人。ジョンはW B Aのフェザー級王座を10年間に18度防衛したが、20度には届かなかった。

◆問 46◆

A②ガッツ石松：石松は最初に「鈴木石松」を名乗り、次いで「ガッツ石松」とリングネームを変更した。レパード玉熊の本名は玉熊幸人、ファイティング原田は原田政彦、ロイヤル小林は小林和男。

◆問 47◆

A④ジョー・メデル：メデルは相手を巧みにロープに誘い込んでカウンターを合わせる技術に長けていたため「ロープ際の魔術師」と呼ばれた。ちなみにオリバレスはバンタム級とフェザー級を制覇した無類の強打者で、ロペスはミニマム級王座を 22 度防衛した名王者。サンチェスはフェザー級王者のまま自動車事故で夭逝した 80 年代の英雄。

◆問 48◆

A③トーマス・ハーンズ：デラ・ホーヤは 90 年代から 2000 年代にかけて史上初の 6 階級制覇を達成。レナードは 80 年代に好敵手ハーンズに 3 日遅れで 5 階級制覇を成し遂げた。ハグラールはハーンズ、レナードのライバルで 80 年代にミドル級王座を 12 度防衛した。

◆問 49◆

A③クラッシャー：「マラビジャ」はセルヒオ・マルチネス、「パンテリータ」はオマール・フィゲロア、「ハンター」はテレンス・クロフォードのニックネーム。

◆問 50◆

A②ニコラス・ウォータース：ガルシアは「スウィフト（敏捷な男）」、ポーターは「ショートタイム」、ゲレロは「ゴースト（幽霊）」のニックネームで知られる。

◆問 51◆

A①オマール・ナルバエス：ナルバエスはWBOのフライ級に続いて 10 年にWBOのスーパー・フライ級も制覇。井上戦まで 11 度の防衛を重ねていた。ちなみにネストール・ナルバエスはオマールの弟。レベコは前WBA世界フライ級王者、マティセは元WBC世界スーパー・ライト級暫定王者。

◆問 52◆

A③ファン・マヌエル・マルケス

◆問 53◆

A③ 3 人：ブルックだけ右構え。ほかの 3 人はサウスポー。

◆問 54◆

A④ミゲール・コット：ゴメス、バスケス、トリニダードは 3 階級制覇。

◆問 55◆

A②キューバ：アマチュアのボクシング大国キューバではプロ活動を認めておらず、一部のトップ選手は亡命してプロ転向を果たしている。

◆問 56◆

A③3個：ゾウは初めて出場した04年アテネ五輪ではライト・フライ級で銅メダルを獲得。08年北京大会と12年ロンドン大会ではライト・フライ級で金メダルを獲得した。したがって金2個+銅1個=計3個。

◆問 57◆

A③カナダ：カナダは移民の受け入れが多い国で、ボクサーも数多くの国の出身者がいる。ビュテ、パスカル、ベテルビエフのほかにもハイチ出身のアドニス・スティーブソン（WBC世界ライト・ヘビー級王者）もカナダをホームリングにしている。